

# かとう治

おさむ

声を現実に。



市政報告 令和5年春号

編集・発行：加藤 治  
発行日：令和5年3月

## ご報告 令和5年3月議会において 今任期として最後の議会登壇“当初予算質疑”

令和5年3月議会において、自由民主党議員団を代表して当初予算質疑に立ちました。市長および市議会ともに今任期最後の3月議会となりますので、通常の代表質問に代わって総括的な意味合いもあり、次期市長・市議会への布石ともなる重要な機会です。自由民主党議員団としては長期財政の見通しを踏まえた現実的な政策展開を基礎としており、そういった視点に立って実りのある有意義な質疑を行えたものと考えています。

また、この4年間としては私が枚方市議会でも唯一「無電柱化」を取り上げてまいりましたが、市長の市政運営方針に反映していただけるなど市政に一定の効果を発揮できたものと感じています。今後とも諸課題解決に向けてしっかりと前向きに議論してまいります。



## 1期目4年間、これまでの実績と成果

(一部抜粋)



### すべての医療従事者に支援を強化

コロナ感染拡大初期において、最前線で闘うすべての医療従事者に対してマスクや消毒液などを提供する独自の支援策を議会でも提案し、実現。



### 無電柱化の取り組みを加速

今期の枚方市議会では唯一「無電柱化」を議題に取り上げ、市政運営方針にも反映されるなど計画が大幅に進展。無電柱化は、都市景観だけでなく、災害時の避難路確保や交通環境の改善などが見込まれる重要な取り組みです。



### 船橋小学校前の危ない歩道を拡幅

歩道が狭く危険だった船橋小学校前の歩道拡幅について市と連携し実現。赤信号での待機場所拡大など通学路としての安全性が向上しました。



### 中ノ谷公園の防護柵を改修

防護柵に隙間があり、実際に児童の転落事故も発生していたため、担当課に連携のうえ改修を実現へ。



### 牧野阪今池公園のバリアフリー化

担当課に連携のうえ、障がい者トイレのドア修理、沿道の路面改善、砂場の囲い設置が実現。その他の箇所についても引き続き進行中です。



### 逆光で見えにくい信号に規制線

東西にかかる道路について逆光によってドライバーが信号を見づらく危険だとして相談いただき、担当課、警察に連携のうえ協議し、事前に信号があることを注意喚起する規制線の設置をすることで問題解消を図りました。

## 市政にたしかな実力を発揮。地域のお役に立ちます!

### ごあいさつ

枚方市議会議員となって4年間ただひたすらに走り抜いてきました。1期目の若輩ながらに総務常任副委員長を拝命するなど、市政の一翼を担う責任を実感しながら日々活動に励んでおります。人口減少、厳しい財政状況など、枚方市が直面している課題を乗り越

え、この大好きな枚方を、素晴らしいまちのまま次の世代へとバトンを繋ぐために、これからも全力で取り組んでいく覚悟です。今後とも変わらぬご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

枚方市議会議員 かとう治



## 令和4年9月・12月議会 一般質問のご報告

### 商店街活性化に向けた地域との連携について

## 商店街への積極的な伴走支援と 地域のニーズに合った施策の拡充を

ポストコロナを見据えるうえでは「社会経済活動の維持」、「感染拡大の防止」の持続的な両立が求められ、これは地域の商店街にとっても大きな課題と言えます。

枚方市では以前から商店街の活性化促進に取り組んでいますが、使徒が限定された補助金制度など活用しにくい施策も目立つのが実情です。そういった指摘を受けて、市では申請のなかった制度を廃止し、新たに地域で活躍する人材の育成と多様な主体を巻き込むことで商店街に新たな価値を生み出す施策として「まちづくり提案型事業」を開始しています。

商店街は単なる商業機能だけではなくコミュニティの中心として地域の持続的発展に欠くことのできない存在です。地域の魅力や価値向上を図ろうとする商店街の動きが多くあるなかで、行政や専門家が伴走支援しながら課題解決に向けて取り組む必要性は言うまでもなく、今後も地域の新たなニーズに対応した取り組みを積極的に計画するよう提案しました。

### 淀川舟運の活性化について

## 万博会場から枚方まで繋がる舟運 大阪・関西万博をチャンスに

現在、淀川舟運事業は大阪市内の八軒屋浜（天満橋駅付近）から枚方まで実施されています。さらに大阪・関西万博においては会場から直通で枚方まで来ることができる航路の開通も計画されており、もともと枚方市は淀川水運によって栄えた歴史的経緯もあることから、さらなる魅力発信と観光PRに繋がるものとして期待されています。

一方で、枚方大橋の上流側において川底に土砂が堆積し、十部な水深が確保できないために大型船の大半が運行できていない状況でもあります。このままでは万博会場からの直通運行が叶わない可能性もあり、枚方市としては万博による経済効果を見込むうえで大きなチャンスを失いかねない課題です。



国の資料においても「淀川河口から京都までを一気通貫の航路が可能となる」と記載があることから、国も実現可能性について認識していることは明らかですから、我々自民党としても国への働きかけを進めてまいりたいと思います。

### お問い合わせ先

## 枚方市議会議員 かとう治

☎ 090-2351-5318  
✉ info@kato-osamu.jp  
🌐 <https://www.kato-osamu.jp>

かとう治の活動は  
こちらからも  
ご確認いただけます



本誌に掲載している質問・要望・提案は、枚方市議会において「かとう治」が発言した内容の要旨です。全文および詳しい内容については、枚方市議会の議事録をご覧ください。

### 楠葉駅前ロータリーについて

## 地域の交流やにぎわい創出に向けた さらなる取り組みの強化を



メインロータリーとサブロータリーの  
切り替え直後の様子

一昨年8月に楠葉駅前のロータリーが改善され、メインロータリーとサブロータリーによる公共交通と一般車両の棲み分けが開始されました。サブロータリーの運用開始後に行われた調査によるとサブロータリーにおける一般車両の利用率は97%と高く、バス・タクシー事業者からは定時制や安全性の向上、市民の方々からも利用しやすくなったとの声が多くあり、整備の効果が一定以上あると評価できます。

一方で、送迎を含む一般車両をサブロータリーに集約したことではモールからは距離が遠くなり、買い物客にとっては使い勝手が悪くなったという意見があることも事実です。そういった側面から、電車・バス・タクシーという交通結節機能としては課題が一定解決できたものの、人々の交流やにぎわいの創出という点では課題が残る状況と言えます。

サブロータリーの利用におけるルールの周知・啓発を継続するとともに、地域や市民の目線に立ったさらなるにぎわい創出への計画となるよう要望しました。

一昨年8月に楠葉駅前のロータリーが改善され、メインロータリーとサブロータリーによる公共交通と一般車両の棲み分けが開始されました。サブロータリーの運用開始後に行われた調査によるとサブロータリーにおける一般車両の利用率は97%と高く、バス・タクシー事業者からは定時制や安全性の向上、市民の方々からも利用しやすくなったとの声が多くあり、整備の効果が一定以上あると評価できます。

### 楠葉駅前広場ロータリーを交通混雑緩和のために改良工事



サブロータリー利用の啓発ポスター  
(枚方市ホームページより)

### 〈その他の質疑内容〉

#### 枚方市国民保護計画について

最悪の状況をふまえて市民の安全を守るための計画を

#### 認知症並びに認知症を取り巻く環境について

サポーター養成講座の推進と地域で認知症を支える体制づくりを

#### 元気づくり・地域づくりプロジェクトについて

高齢者が元気に生きがいを持って生活ができる地域づくりへ

#### 老人クラブの現状について

ニーズに合った支援の継続と運営における負担軽減を

#### 市民の森（鏡伝池緑地）について

環境保全とにぎわい創出の両立、地域に愛される公園へ

#### 無電柱化について

適宜計画の見直ししながら低コスト・省スペースも踏まえた取り組みを

#### 文化財の資料について

適切な人員配置による調査体制と既存施設等による展示機能の検討を

#### 療養費の受診照会について

受診抑制とならない工夫の強化と受診照会に対する審査会の設置を

### かとう治プロフィール

- 枚方市議会議員（現在1期目）
- 議会運営委員、市民福祉常任委員

**略歴** 昭和52年3月3日生まれ。樟葉南小、第三中、啓光学園高、京都仏眼医療専門学校、AMS柔道整復師養成学校卒。加藤鍼灸接骨院 院長。

**現在** 自由民主党枚方市支部 総務会長、自由民主党大阪府支部連合会青年局 総務会長、公益社団法人大阪府鍼灸マッサージ師会枚方師会 顧問、公益社団法人大阪府柔道整復師会、枚方ライオンズクラブ、牧野愛する商店会 顧問